

日本建築家協会関東甲信越支部建築相談委員会 2011年度セミナー
シンポジウム

— 地震国日本の住まいを考える —

修復しながら住み続ける家

過去の地震において、「危険」、「全壊」と判定された家は即解体となってきました。東北地方太平洋沖地震においても同様な措置がとられています。関東地方でも、地盤の液状化、建物の亀裂、不同沈下等そのままでは住めない状況が起きています。

今回は、中越地震発生以降、被災地で「被災家屋の修復相談会」を開き、全壊建物を含む多くの被災家屋を修復に導いてきた、「たてもの修復ネットワーク代表」の長谷川順一氏（住まい空間研究所主宰）と、長年伝統的建造物の修復に携わってこられた立場で、現地で被災地支援を行っている耐震総合安全機構の岡部則之氏（JIA会員）のお二人を講師にお招きしました。

地震によって被災しながら、地震国日本で「修復しながら住み続ける家」活動について、それぞれの立場からのお話は、今後の住まいや被災地支援に向けた一助となることでしょう。

皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

■開催日時：（開場1時30分）

2012年2月13日（月）午後2時～4時半

■開催場所：

JIA館1階 建築家クラブ

■プログラム：

開会（午後2時）

1部 —地震国日本の住まいを考える—
修復しながら住み続ける家

（午後2時5分～午後3時50分）

講師：長谷川順一氏（住まい空間研究所主宰）

岡部則之氏（耐震総合安全機構

岡部則之計画工房・JIA会員）

2部 情報交換会（午後3時50分～4時30分）

閉会

■参加費：1,500円

■募集人数：50人（先着順）

■CPD：3単位（認定プログラム）

■申し込み先：日本建築家協会関東甲信越支部事務局青木宛

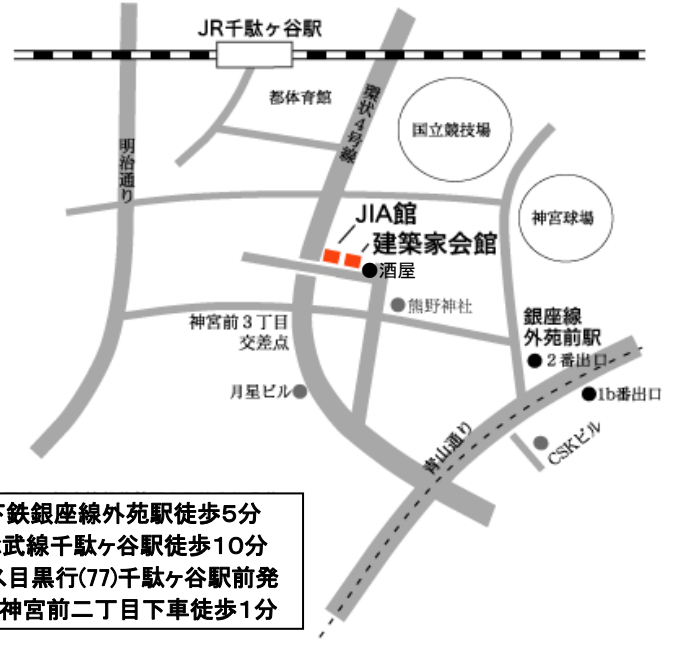
FAX（03-3408-8294）、又はE-mail（eaoki@jia.or.jp）をお願いします。

■問合せ先：TEL03-3408-8291 日本建築家協会関東甲信越支部事務局青木宛

※なお、終了後、同会場で懇親会を予定しております。費用は別途1,000円いただきます。

■案内図

東京都渋谷区神宮前2-3-18



アクセス：地下鉄銀座線外苑駅徒歩5分
JR総武線千駄ヶ谷駅徒歩10分
都バス目黒行(77)千駄ヶ谷駅前発
神宮前二丁目下車徒歩1分

■申し込み：日本建築家協会関東甲信越支部事務局 青木宛 FAX（03-3408-8294）

日本建築家協会関東甲信越支部建築相談委員会 2011年度セミナー

<シンポジウム—地震国日本の住まいを考える—修復しながら住み続ける家>に

・ 参加します

・ 参加しません

<懇親会>に

・ 参加します

・ 参加しません

（いずれかに○印を記入してください）

お名前：

ご連絡先：